

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
居住環境特別演習	笠 浩一郎	演習	4		1, 2, 3, 4	3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	近年、居住環境を改善するために、情報科学技術を利用する機会が増えてきている。居住環境基礎では、グループでの活動を通して情報科学技術について学び、実際に情報科学技術を利用して居住環境を改善する方法を検討し、考察する。						
到達目標	居住環境の改善に、情報科学技術がどのように利用されているのかを理解し、実際に情報科学技術を利用して居住環境の改善方法を提案し、その方法を検証・考察できることを到達目標とする。						
回	学習内容	回	学習内容				
1	ガイダンスと個別面談	16	卒業研究、卒業制作の内容決定				
2	HP 制作 1 (WWW の仕組み)	17	卒業研究での情報収集 (図書や論文等)				
3	HP 制作 2 (HTML でテンプレ作成)	18	卒業研究での情報収集 (Web 検索)				
4	HP 制作 3 (HTML で各ページ作成)	19	卒業研究での情報収集結果の報告				
5	HP 制作 4 (CSS)	20	計画の作成				
6	Scratch で個人作品の制作	21	計画の報告				
7	Scratch で個人作品の発表	22	制作の準備				
8	Scratch でグループ作品のテーマ決め	23	ゼミ内の中間発表				
9	Scratch でグループ作品の制作	24	制作				
10	Scratch でグループ作品の発表	25	制作の修正				
11	中間の個別面談	26	制作の報告				
12	プログラミング 1 (開発環境構築)	27	卒業論文の構成の確認				
13	プログラミング 2 (変数と型)	28	卒業論文の内容の確認				
14	プログラミング 3 (基本構文)	29	卒業研究発表の準備				
15	プログラミング 4 (関数)	30	卒業研究論文の提出と卒業研究発表会				
予習内容 復習内容	事前に課題を課すので授業日までに課題を提出する。 授業内で課題が終わらない場合は、授業外で課題に取り組む。						
教科書	「スッキリわかる C 言語入門」, インプレス (ISBN978-4-295-00368-7)						
成績評価	ゼミへの参加度、ゼミ内での取り組み内容 (100%)						
実務経験	なし						
その他 特記事項	なし						